

三重県神道青年会報

神嘗

奉祝 天皇陛下御即位

第四六号

平成三十年度 定例総会

平成三十年度定例総会が平成三十一年四月二十四日（水）、三重県神社庁にて小倉会長以下、役員・会員三十五名の出席をもって開催された。

総会に先立ち、神社庁神殿にて創立七十周年奉告祭が斎行され、志を新たにした後、会議室にて定例総会が行われた。

開会儀礼に続き、会長挨拶、来賓の田中安弘三重県神社庁青年会担当理事・伊室芳樹三重県氏子青年協議会会長より祝辞を頂戴した後、芝副会長を議長に選出し議事へと移った。

先ず会長より平成三十年度会務報告、会計より会計決算報告、並びに特別会計収支計算報告、監事より会計監査報告が行われ、其々承認された。次に三重県神道青年会会則の一部を変更する会則案が審議、承認され、その変更に加え、小倉会長任期満了に伴う役員改選

が行われた（前頁参照）。続き令和元年度活動方針案並びに事業計画案、同会計予算案が審議、承認され、定例総会は滞りなく終了した。



会務報告

平成三十一年 四月

二十四日 平成三十年度定例総会

三十五名出席 神社庁

二十四日 卒業式 三十九名参加 津市内

令和元年 五月

二十二日 第一回役員会 十七名出席 神社庁

六月

十二日 第二回役員会 十八名出席 神社庁

七月

十日 新職員交流会 三十一名参加 伊勢市内

十三日 福祉活動「白塚海浜清掃奉仕」

六名参加 白塚海岸

十六日 第三回役員会 十五名出席

猿田彦神社

二十九～三十日 第四十回お宮の子供会

二十一名参加 猿田彦神社

八月

九日 第四回役員会 十四名出席 伊奈富神社

二十四日 創立七十周年特別記念講演会

「知られざる皇室」久能靖氏

二十二名参加 果文多目的ホール

三十日 神青協「天下大祓」（各都道府県で斎行） 十七名参加 鈴鹿市内

九月

五日 第五回役員会 十四名出席 神社庁

十～十一日 神道青年東海地区協議会総会並びに教化研修会 十一名参加 長野県内

十三日 福王神社復興支援活動 十五名参加

十九日 神宮神青との合同研修会

十五名参加 皇學館大学

二十一日 北部・中部ブロック研修会

四十四名参加 菅原神社

十月

二十一日 第五十回上野阿山氏子青年の集い（観月会） 十二名参加 伊賀市内

十八日 千曲川流域被災地域鎮座神社復興支援活動 二名参加 長野市内

二十二日 御大典奉祝事業 伊奈富神社提灯行列助勢奉仕 五名参加 伊奈富神社

二十三～二十六日 御大典奉祝事業 記帳所助勢奉仕 八名参加 宇治橋前

二十五日 第六回役員会 十八名出席 神社庁

十一月

六日 千曲川流域被災地域鎮座神社復興支援活動 五名参加 長野県内

十一日 千曲川流域被災地域鎮座神社復興支援活動 八名参加 長野県内

二十一日 御大典奉祝事業 提灯行列助勢奉仕 六名参加 伊勢市内

二十五日 神宮大麻頒布促進運動 六名参加 四日市采女地域

二十六～二十七日 三重神青創立七十周年記念事業 大嘗宮等施設見学 十名参加 東京都・神奈川県内

十二月

十一日 第七回役員会 二十一名出席 神社庁

十一日 忘年会 二十六名参加 津市内

三十日 第八回役員会 十八名出席 猿田彦神社

三十日 新年会 四十四名参加 伊勢市内

二月

六日 建国記念の日啓発活動 十二名参加 宇治橋前

二十五日 第九回役員会 十五名出席 神社庁

三十日 第十回役員会 十六名出席 神社庁

三月

御大典奉祝事業

天下大祓

八月三十日（金）正午、神道青年全国協議会の呼び掛けのもと全国一斉同時に「天下大祓」が斎行された。

天下大祓とは、天皇陛下の即位礼及び大嘗祭に先立ち、諸儀式の恙無い斎行と新しい時代が災い無



よう日本国土を祓い浄めるもので、三重県では鈴鹿サーキットの近くに御鎮座し、伊勢平野が見晴らせる東岡神社で斎行した。

当日は鈴鹿サーキット関係者や同神社の吉田宮司にもご参列頂いた。心配していた雨も斎行前には上がり、時折晴れ間も見えるなど、来る新時代の美しい幕開けを感じさせる儀式となった。

伊奈富神社提灯行列 助勢奉仕

十月二十二日（火）「即位礼正殿の儀」の日を迎え、全国各地で奉祝行事が行われる中、当会は鈴鹿市に御鎮座する伊奈富神社の提灯行列を助勢奉仕した。

約二百五十名の参加者が夕刻、同神社氏子区域を提灯を持って練



り歩くにあたり、提灯や記念品を渡す手伝いを行った。その後、式典に於いては奉祝の幟を掲げ、参加者と共にお祝いをした。

参加した子ども達からは「綺麗で楽しかった」などの声を頂き、我が国にとって正に特別な日であったことを感じた。

記帳奉仕



「いい経験をさせてもらった」という声も聞かれ、記帳者は一様に天皇陛下の御即位を喜ぶ気持ちに満ちあふれていた様子であった。また、この記帳は後日、宮内庁へ届けられた。

伊勢市提灯行列 助勢奉仕

十一月二十一日（木）、天皇皇后両陛下におかれられては、即位礼及び大嘗祭後神宮に親謁の儀の為に伊勢へ行幸啓遊ばされた。



夜には陛下の御即位を奉祝し、おはらい町において伊勢の御大典奉祝委員会が主催する提灯行列が行われ、当会より五名が行列の警備を奉仕させて頂いた。

寒空の下、鈴木英敬知事を先頭に千五百名以上の参加者はゆっくと整然とおはらい町を進み、宇治橋前で神宮を遙拝後、国歌斉唱、万歳三唱が行われた。（表紙写真）最後に山本信一郎宮内庁長官よりサプライズのご挨拶があり、奉祝の提灯行列を締めくくった。



皇居で行われた「即位礼正殿の儀」に合わせて、伊勢の御大典奉祝委員会が十月二十二日から三十一日まで内宮宇治橋前にて記帳所を開設し、当会も十月二十三日（水）より記帳所の助勢奉仕をさせて頂いた。

記帳所には、北海道から沖縄県まで全国津々浦々から多くの方々がお越しになり、「記帳なんて初め

全国各神社 御神符御社頭授与品 奉製所

伊勢國産合資会社

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町87
TEL 0596-22-2960
FAX 0596-22-2335

◎多少にかかわらず御用命ください。

太鼓作り900有余年
本木製ならではの品格と質の高さは最上級

原木・原皮からの一貫生産工場直売

在庫豊富 各品速納 カタログ送付

諸太鼓製造元 津島神社他多数御用達宛
○神社・仏閣・教会用○雅楽・能楽用各種○祭礼用・舞台用・他

堀田新五郎 商店

☎(0567)26-2412(代)
愛知県津島市下新田町5丁目123 FAX24-7663
https://www.hottashingoro-taiko.com/
E-mail:shingoro@pony.ocn.ne.jp

神酒 三重の新嘗 醸造元
清酒 宮の雪

株式会社 宮崎本店

ISO9001・ISO14001 認証取得企業

四日市市楠町南五味塚972
電話 (059) 397-3111
www.miyanoyuki.co.jp

創業 明治以前

各種御神符・守札 その他授与品全般

湊御神符奉製所

株式会社 湊

伊勢市神宮会館前 (〒516-0025)
TEL(0596)22-2442(代表) FAX(0596)28-8445
info@ise-minato.co.jp

第四回 お宮の子供会



七月二十九日(月)・三十日(火)、
本年は伊勢市の猿田彦神社で開催、
一泊二日の子供会に県内各地から
三十二名の子どもが参加した。

まず正式参拝を宇治土公会長に
合わせて行った。開会式後、高学年・
低学年と二班に分けて境内を巡っ
た。神社職員から手水のやり方や
お参りの仕方、神社の説明をして
頂いた。次に、夕食のカレーの準
備として子どもたちには野菜を
切ってもらった。慣れた手つきの
子や初めて包丁を使う子など様々
であったが、



大小切り揃
えられた野
菜を前に子
どもたちは
夕食が待ち
きれない様
子であった。
夕食後は、

神話紙芝居「天岩戸開き」を上演、
子ども達は真剣な表情で話に聞き
入っていた。



翌朝参拝の後、白い衣服に着替
え内宮別宮の月讀宮へ移動。古殿
地の玉砂利に落ちた枯葉を拾った
り、雑草を引っこ抜いたり子ども
もたちは額に汗をかきながら隅々
まできれいに清掃した。猿田彦神
社に戻ると、二班に分けて創立七
十周年記念事業の一環でもある

入っていた。
子ども達は真剣な表情で話に聞き
入っていた。



閉会式では、修了証と記念品を
会長より一人ひとりに授与し、全
員が笑顔で解散となった。

ワークショップを行った。地元の
神具店・株式会社社宮忠様のご協力
を得て職人二名を講師に、鳥居づ
くり挑戦した。子どもたちは初
めて使用する道具を持ち、悪戦苦
闘しながらも完成させていった。
また、もう一班は火鑢具や火打石
を使った火おこし体験を行ったが、
子どもたちはその難しさを実感し
ていた。
昼食は流しそうめんを行った。
会員特製のセットで流すそうめん
に子ども達は大喜びで、プチトマ
トやフルーツを流すと一層盛り上
がった。

三重県神道青年会
創立七十周年記念事業

記念講演会



八月二十四
日(土)、当会
の創立七十周
年記念事業と
して津市の三
重県総合文化
センター・多
目的ホールに

て「知られざる皇室」と題して元
日本テレビアナウンサーで皇室
ジャーナリストの久能靖先生によ
る講演会を開催した。

神武天皇より今上陛下まで百二
十六代に亘り脈々と受け継がれる
皇室を戴く我が国では、武家政権
の興隆や戦乱期など時代の目まぐ
るしい変化の中でも、歴代天皇に
は、常に「国やすかれ民やすかれ」
と国民の安寧を祈られてきた。

今上陛下も上皇陛下より宮中祭
祀の大切さをしっかりと継承され

ている事や、長年に亘る取材経験
に基づかれた皇室の方々のお人柄
や様々なエピソードなど大変興味
深いお話を聴かせて頂いた。
天皇陛下が踐祚され令和の御代
が始まった今、改めて皇室を戴く
日本の素晴らしさを認識すること
ができた講演会であった。

県外研修

創立七十周年記念事業の一環と
して十一月二十六(火)・二十七日
(水)の日程で、参加者十名のもと
県外研修を行った。

初日は、皇居東御苑の約九十メー
トル四方の敷地に建設された大嘗
宮を拝観。板葺きで黒木造りの廻
立殿・悠紀殿・主基殿の壮大さに
目を奪われた。古くより脈々と行
われ、天皇陛下が国家・国民のた
めにその安寧と五穀豊穰を感謝し
祈念された大嘗祭が目への建物
で斎行されたと考えたと胸が熱く
なると共に、私達が今平和に暮ら
している根底には天皇陛下の日々
の祈りがある事を忘れてはならな

いと感じた。

大嘗宮拝観後、港区愛宕御鎮座
の愛宕神社へ正式参拝。東京都神
道青年会の松岡元会長の奉職先で
もあり、御由緒等ご案内頂いた。
参拝後、神奈川県横浜市へ移動。
神奈川県神道青年会の皆様との懇
親会が行われ、あたたかいおもて
なしを頂き、親交を深めることが
できた。

二日目は、横浜市金沢区富岡東
御鎮座の富岡八幡宮へ正式参拝。
神道青年全国協議会の佐野前会長
がご奉仕されており、神社の御由
緒等をご案内頂き、二日間の有意
義な研修を終えることができた。



総合カタログ進呈
社殿・調度品・神祭具・御装束
伊藤商会
〒470-0131 愛知県日進市岩崎町ケカチ4-3
フリーダイヤル 0120-192381
電話 0561-74-5110
FAX 0561-73-1472

創業260年の
伝統技術 桑名 和太鼓 造り
創業宝暦三年 御太鼓師 八代目 阿部甚兵衛
阿部太鼓店
心に響く確かな技
桑名市下深谷部645(高砂町)
(大桑国道258号線深谷陸橋下西へ50m)
☎(0594)29-1110(代)
FAX(0594)29-3405

神祭具御装束調進
鈴木半三郎商店
〒516-0077 伊勢市宮町1丁目12-7
(TEL) 0596-23-1881
(FAX) 0596-23-0202

社殿造営
かやぶき神殿・神具
御霊舎・丸曲製造
設計・施工・販売卸
有限会社 俵田屋
代表取締役 田中弘紀
伊勢市宇治浦田1丁目10-38
☎(0596) 22-3905(代)
FAX (0596) 22-3908



御大典を機に、さらに広めていかねければいけないと再確認した。

一、日時 令和元年九月十九日(木)
一、場所 皇學館大学
一、内容 「元号について」
一、参加人数 四十四名
皇學館大学の松本丘教授に講師をお願いし、使用することが少なくなりつつある「元号」について、その歴史や制度、意義などのお話をいただいた。我々神職は、伝統を守り元号を使用する重要性を認識し、この度の御代替り

神宮神青との合同研修会

各種研修会

北部・中部ブロック合同研修会

一、日時 令和元年九月二十一日(土)
一、場所 菅原神社(伊賀市)
一、内容 「国指定重要無形民俗文化財 菅原神社の上野天神祭について学ぶ」
一、参加人数 二十六名
講師に上野文化美術保存会の松生龍治氏を迎え開催した。当祭は平成二十八年にはユネスコ無形文化遺産にも登録されており、四百年以上の歴史を有する祭の由緒や現在の祭事の様子、今後の課題などを説明頂いた。



神宮・南部ブロック研修会

一、日時 令和二年三月五日(木)
一、場所 大豊和紙工業株式会社(伊勢市)
一、内容 「神宮大麻と伊勢和紙について」

※右記を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止となった。



七月十三日(土)、白塚海岸にて三重県豊かな海づくり推進委員会、三重県漁業協同組合連合会などが主催する海浜清掃が開催され、当会からも六名が参加した。午前七時十五分より開会式が行われ、海岸線にてゴミ拾いを行った。遠目には少ないように見えたゴミも、近付くと思いの外多く、支給されたゴミ袋はすぐに満杯となる有様であった。気になつたのは最近よく取り沙汰されるプラスチックゴミで、細くなるもの自然に還ることなく砂に隠れるなど、あちこちに落ちていた。清掃活動終了後に山積みされたゴミの多さに驚きを隠せず、同時に清掃活動の重要さや、ゴミそのものについて

白塚海浜清掃奉仕



て個人の心掛けを見つめ直す良い機会となった。

この白塚海岸は県鳥シロチドリなどの希少生物が確認されている海岸であり、今回の清掃活動を通じてこれらの希少生物が少しでも過ごしやすい環境となるよう、例え一人ひとりの力は小さくとも継続していけばやがて大きな力になると信じ、今後も清掃活動に参加していく事が肝要であると思う。



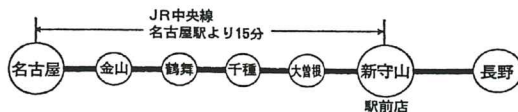
十一月二十五日(月)、神宮大麻と氏神さまの御神札の頒布を促進するため、四日市市御鎮座の采女八幡社氏子区域でポスティング活動を行った。
当日は六名の会員が三班に分かれて、約八百戸に案内リーフレットを投函した。
基本は郵便受けへの投函であったが、出会った方々には、直接活動の趣旨をお話しするとともにリーフレットをお渡しし、微力ながらも家庭祭祀の促進運動の一助を担わせて頂いた。



社寺建築・設計施工 調整=御遷宮
御装束 東
御調度品 銚金具

神社・寺御用 株式会社 甲村

〒463-0069 名古屋守山区新守西1608
電話 (052) 792-1202
FAX (052) 792-1293
御来店は JR中央線新守山駅前店へ



神祭具 授与品 記念品 奉製
株式会社 神路社
本社 三重県伊勢市岩淵2丁目5番29号(私書箱第26号)
電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamijisya.co.jp
神苑 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号ACTビル4階
(東日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721
〒150-0013 E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp
URL http://www.kamijisya.co.jp

あなたの本づくり サポートします!
自分史 句集 歌集
写真集 画集 エッセイ
お問い合わせは
株式会社 オリエンタル 良書出版事業部まで
株式会社 オリエンタル TEL 059-245-3111
三重県津市河芸町上野2100番地 FAX 059-245-1177 http://ryosho.apgl.jp/

神殿 神祭具 設計 製作 施工 販売
株式会社 宮忠
みやちゆう
QRコード



台風 19号による千曲川氾濫の被害を受けた流域 3社の復興支援に参加した。当会では災害対策として様々な準備を進めており(12~13頁参照)、重機や高圧洗浄機を駆使して迅速に作業を行うことができた。

長野市／赤沼・大田神社
津野・伊勢社、八幡神社

復興支援活動



10月18日・
11月 6日・11日

9月13日

三重県菰野町福王神社

復興支援活動



9月4日の夜から5日にかけて、三重県が記録的な豪雨に見舞われ福王神社が被災した。重機の使える所が限られており、人力で参道等の土砂をただひたすらに掻き出した。



災害基金 協賛者御芳名

春日神社	宮司	神田 信忠
多賀大社	名誉宮司	中野 幸彦
津八幡宮	名誉宮司	石上 紀男
志氏神社	前宮司	富永 主税
引本神社	宮司	森本 巖
頭之宮四方神社	宮司	村田 正和
椿大神社	宮司	山本 行恭
耳常神社	宮司	増田 秀樹
飛鳥神社	宮司	分部 憲一
金井神社	宮司	種村 睦
二見興玉神社	欄宜	福田 和人
比々岐神社	宮司	内保 隆幸
多度大社	欄宜	中野 哲彦
猿田彦神社	権欄宜	神田 基
津八幡宮	宮司	石上 陽祥
結城神社	宮司	宮崎 吉史
彌都加伎神社	宮司	遠藤 嘉章
二見興玉神社	欄宜	尚 孝之
都美恵神社	宮司	橋本 和彦
三重縣護國神社	宮司	久我 宮衛
小川神社	宮司	原 光夫
真清田神社	宮司	山下 久夫
大村神社	宮司	辰 守弘
	金山 修	

大西神社	宮司	伊藤 智
椿大神社	権欄宜	田中 淳
多度大社	欄宜	平野 直裕
椿大神社	欄宜	芝 幸介
海山道神社	権欄宜	三橋 航
北畠神社	宮司	宮崎 洋史
多度大社	宮司	塚原 徳生
松阪神社	宮司	波多瀬 秀之
八阪神社	宮司	原 忠照
城南神社	宮司	松永 栄木
長島神社	宮司	御館 重尚
加富神社	宮司	馬場 明德
殖栗神社	宮司	館 昭房
亀戸天神社	宮司	大鳥居 武司
多度大社	欄宜	瀬尾 好弘
猿田彦神社	欄宜	川口 浩之
椿大神社	欄宜	岩田 健司
劔神社	宮司	上坂 省一
深田神社	宮司	樋口 比呂磨
大神神社	権欄宜	池田 陽一
椿大神社	権欄宜	村田 昭彦
若宮八幡神社	宮司	岡野 清彦
多度大社	権欄宜	見垣 文敏
多度大社	権欄宜	杉原 将一
木代神社	宮司	廣岡 靖晃
多度大社	権欄宜	日紫 喜康史
椿大神社	権欄宜	佐藤 直道
椿大神社	権欄宜	秋本 剛宏

〈関係団体〉

三重県神社庁三重支部
神道青年東海地区協議会

上記の皆様、誠にありがとうございます
ました。

また、三重県神社関係者大会において、災害対策基金の募金活動を実施しました。ご寄付くださいました方々にはこの場を借りて篤く御礼申し上げます。

なお、賜りました協賛金は災害復興支援の際の活動資金や高圧洗浄機、マスクなどの物品購入にも充てさせていただきますこと、ご報告致します。

災害基金協賛金	七三五、〇〇〇円
協賛金五十四名より	一二四、三二七円
関係者大会募金	八五九、三二七円
合計	八五九、三二七円



ユンボ 免許取得



復興支援活動において、人力のみでは限定的なことが多いことから、建設機械の運転技能を得るため「小型

車両系建設機械運転特別教育修了証」の取得を当会で推奨した。これまで三橋監事が取得していたが、今後の事業持続を考え、この度吉田副会長と増田・種村両理事が取得した。

そして、今回の長野県の復興支援（十一頁参照）ではユンボを巧みに操り、泥土除去を行うなど現場で大いに活躍した。

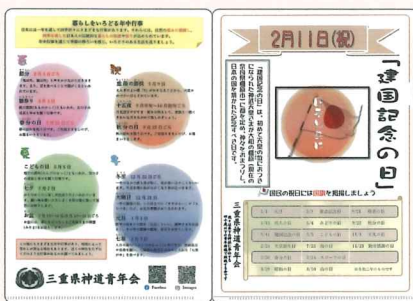


建国記念の日啓発活動

二月六日（木）、内宮宇治橋前にて建国記念の日啓発活動を十二名の参加者のもと行い、「建国記念の日」と国旗掲揚を啓発する配布物を、増田理事デザインの日本の年中行事を紹介したクリアファイルに挟んで四千枚を準備、配布した。

当日は晴天なれどもひどく冷え込んでおり、また連日報道されている新型コロナウイルスの影響もあつてか、行き交う人の

数は普段より少なく感じたがその中でも興味をもって快く受け取ってくださいる方が多く、大変実りの有る活動を行うことが出来た。



祈る心によりそう御守づくり
京の伝統に真心を込めて

京都奉製株式会社
京都本社 / 東京営業所 / 仙台営業所 / 福岡営業所 / 東海営業所 / 広島営業所
0120-164124 (イロヨイニシキ)

寒紅梅酒造株式会社
Kankoubai Sake Brewery

創業安政元年(1854年)
清酒 梅酒 寒紅梅

〒514-0103 三重県津市栗真中山町 433 番地
TEL 059-232-3005
FAX 059-232-3025
http://www.kankoubai.com

うどん食堂つぼめや
〒516-0018
伊勢市黒瀬町 953 番地
TEL0596-22-5480

有職工房
御装束・調度・各種祭礼衣裳(神楽等) 授与品 御調整
代表 江原 永容

〒601-0011
京都市上京区上御霊前通
室町東入内構町四二四一
電話 〇七五-四一七-三三二七
FAX 〇七五-四四一-三三七六
フリーダイヤル 〇二〇-六四-八八五五
HP http://yusokukoubou.com